

旧国道沿いの静かな町並み

その昔、多くの旅人が行き交った道
いくつもの時代が交錯する路地

裏路地探険

山陰表街道・裏街道分岐点の町／山東町

矢名瀬町(山東町)

国道9号線と427号線に挟まれた一角にあり、その昔、但馬から遠阪峠を越えて京都・奈良へ続く山陰表街道と山東から亀岡へ続く山陰裏街道がはじまっていた分岐点となる地域。旧国道9号線沿の梁瀬駅から続く町並みは、昔ながらの商店街、造り酒屋など、旧街道ならではの趣を残している。また、周辺には寺院が多く歴史的な物語もたくさん語り継がれている。



円照寺の境内縁側に腰かけて矢名瀬町の歴史を聞く



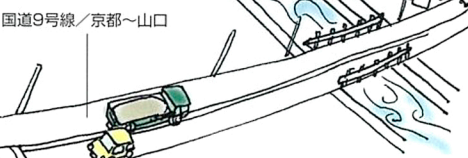
造り酒屋の杉玉



やなせ村道路元標



大黒柱の刀傷



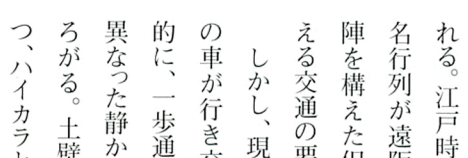
国道427号線 至遠阪・氷上



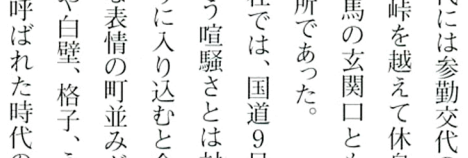
国道9号線/京都・山口



大垣交差点



至和山



栗鹿川



至JR梁瀬駅

下の茶屋

旧銀行

造り酒屋、此の友酒造株式会社
元禄3年創業、豊岡藩主京極氏の参勤交代の休息本陣で
殿様が休息の折り、丸窓の外に咲く美しい紅梅を誉め
「窓の梅」という酒銘をつけたといういわれあり。
「但馬」の銘酒で親しまれている。

造り酒屋の杉玉、新酒ができた時に新しくする
お酒の熟し具合がわかる

駒つなぎの松が
あったところ

大黒柱に刀傷あり
生野義拳で敗北した農民が
報復を企てたもの

旧郵便局跡

円照寺
山門の寺号の額は
華嚴宗鳳潭の筆
旧仏教徒が新仏教
(浄土真宗)の
寺号を書いた
珍しいもの

浄栄尼の名号碑
生きたまま土の
中に入り念仏を
唱え往生した

長栄寺
大神楽の寺として知られる
伊勢の大神楽が興行中に誤
って刀が喉に刺さり命を失
ったことも(その後追善供
養の興行が行われていた)
また、浄栄尼が仏師に彫ら
せた三十三体の観音像あり

の島へ流罪となった祖父を慕い、男
僧に扮して会いに行くために出発
した寺である。

長栄寺は生き仏となつて念仏を
唱え往生した浄栄尼ゆかりの寺。
大衆娯楽、おやまの道中・皿まわ
し・刀芸など大神楽の興行が行わ
れたことでも知られている。

また、円照寺の山門にある寺号
の額は江戸中期の華嚴宗鳳潭の筆
によるもので、旧仏教徒が新仏教
である浄土真宗の寺号を書いたこ
とは大変珍しいとされている。

いずれも、今ではさほど広く感
じられない道幅に、幾多の時代に
多くの人々が行き交ってきた姿を
彷彿とさせる。表街道と裏街道の
分岐点となる三差路の隅に、時の
証人のように静かに道路元標が
佇んでいるのが印象的だ。

協力・山東町・矢名瀬町のみなさん

●裏路地探険隊員募集

4月21日(土)開窓時探険
東銘伏の自然豊かな山里、別宮を歩く
*実施日の10日前までに、22ページ掲載のT2編
集部へ住所・氏名・年齢・電話番号を記入の上
ハガキでお申し込みください。



秋葉神社から見下ろす矢名瀬町の家並み

元禄15年創業
造り酒屋
田治米合名会社
「竹泉」の銘酒で
親しまれている。

煙突

婚礼や子どもが
生まれた時などに
だけ開けられる門

至夜久野・福知山

街道の元標
(分岐点)

山陰裏街道の起点
山東～亀岡

なりあい道(西国巡礼道)
姫路内教寺～天橋立成相寺

山陰表街道
但馬～遠阪～丹波～京都～奈良

昔ながらの
商品棚がある手芸店

うだつ

モダンさが残る
建物の写真館

モダンな写真館
旧銀行

手芸店

桐葉寺
但馬ミュージカル研究会が
上演した「心涼尼物語」でも知られる
心涼尼ゆかりの尼僧寺

秋葉神社へ



案内をしていただいた
田路勉さん元小学校長、
山東町史・教育委員会発
行の子供向け郷土誌な
どの執筆に携わる。

ている。

さらに、国道9号線を隔てた秋
葉山の麓にも3つの寺があり、当
時の人々の暮らしや、生き方を知
ることができる。桐葉寺は、2年
前、但馬ミュージカル研究会が上演
した心涼尼物語のヒロイン心涼ゆか
りの寺で、農民一揆を起こし沓岐

絶え間なく行き交う車の流れ
の向こうに静かに時を隔てた旧街
道の町並みがひろがる。京都から
山口県へと山陰を縦走する国道
9号線と遠阪から神戸・大阪方面
へ続く427号線が交差する一

角。昭和36年頃に、現在の位置へ
国道9号線が改修されるまで、主
要道路とされていた矢名瀬町の
旧国道9号線沿いを歩く。
かつては、村役場や郵便局、銀行
があり、JR山陰本線梁瀬駅から
うどん屋、自転車屋、運送屋、畳
屋、飾り屋など多くの商店が軒を
並べ、盆と正月にはやなせ市と呼

ばれる大きな市が立ち賑わってい
た通りだ。
さらに時代をさかのぼると、但馬
から丹波、京都、奈良へ続く山陰表
街道、矢名瀬町を起点に夜久野峠
を越えて京都亀岡へ向かう山陰裏
街道、西国巡礼者が姫路の書写山
円教寺から天橋立成相寺をめざし
て歩いたなりあい道としても知ら
れる。江戸時代には参勤交代の大
名行列が遠阪峠を越えて休息本
陣を構えた但馬の玄関口とも言
える交通の要所であった。

しかし、現在では、国道9号線
の車が行き交う喧騒さとは対象
的に、一歩通りに入り込むと全く
異なった静かな表情の町並みがひ
ろがる。土壁や白壁、格子、うだ
つ、ハイカラと呼ばれた時代の飾
り窓やタイルをあしらった建物、
いくつもの時代が交錯するように
存在している。中でも元禄時代創
業の2つの大きな造り酒屋は、
どっしりとその存在感を与える。